

ダイバーシティ宣言例

いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

1. 年齢や性別、国籍、障がいの有無等どのような立場の人でも「等しく」扱われ、それぞれが持つ個性、強みを発揮し、だれもが活躍できる環境をつくります。
2. あらゆる「価値観」「考え方」「ライフスタイル」「能力」「経験」などの違いを大切にし、働き方の見直しや働きやすい環境の整備を進めます。
3. 様々な機会を生かして、多様性を生かす風土づくりに向けた意識改革を促すとともに、新しい価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ社会の実現に貢献します。

(令和3年7月2日)

いばらきダイバーシティ宣言（笠間市）

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

1. 年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、それぞれがもつ個性やその人らしさを発揮し、市民相互の理解のもと誰もが暮らしやすく、また活躍できる市をめざします。
2. それぞれがもつ価値観や能力、ライフスタイルなどの違いを認め合い、多様な働き方を促進するとともに、仕事と生活のバランスに配慮した働きやすい環境整備をすすめます。
また、すべての人のためのデザイン「ユニバーサルデザイン」に配慮したまちづくりの推進により、誰もが生活しやすい環境を整えます。
3. 多様性を生かした地域づくりに向けた意識啓発をすすめるとともに、広い視野をもち、新たな価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ笠間の実現をめざします。

(令和3年10月19日)

飛騨市ダイバーシティ宣言

「ともに幸せを描こう」

私たちは、様々なちがいをを持った人々が共存しながら、お互いを認め合い、誰もが自分らしく生きることができるまち、それぞれの幸せを追求できるまちの実現を目指し、次のことに取り組みます。

1. 様々なちがいをを持った人々がともに生活していることを認識し、各々が輝く生き方ができるよう、ともに受け入れ、ともに暮らせるまちをつくります。
2. 常に自分ごととして捉え、相手の立場になり、優しい気持ちにあふれた住みやすいまちをつくります。
3. 互いに支え合い、気持ちに寄り添い、誰もが安心し、心豊かに暮らせるまちをつくります。

(令和6年3月26日)

ちばダイバーシティ宣言

千葉県は、明治6年に誕生してから150年の節目を迎え、次の世代に豊かな千葉県を残していくため、未来に向けて新たな一步を踏み出す時が到来しました。

私たちの社会には年齢、性別、障害の有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認など様々な違いのある人が存在します。

こうした多様な立場の人を尊重することは、様々な人が抱える生きづらさの解消につながるとともに、社会の活力や創造性を向上させます。

私たちは、次の100年に向け、あらゆる人々が差別を受けることなく、一人ひとりが様々な違いがある個人として尊重され、誰もが参加し、その人らしく活躍できる社会の実現を目指すことを、ここに宣言します。

(令和6年6月16日)

下呂市 多様性尊重（ダイバーシティ）宣言

下呂市は、性別、国籍、性的指向、障がいなど、多様なあり方を互いに認め合い、だれもが差別や偏見を受けることなく、自分らしく生きいきと暮らせるまちづくりに取り組むことをここに宣言します。

（令和 6 年 5 月 26 日）